

第4期 いきいき金沢・ささえあいプラン（金沢区地域福祉保健計画）

策定の方向性と区計画骨子案について

策定期間を1年延長しました。



1 第3期計画の進捗状況と課題（区民意識調査や第3期計画の年度振り返りなどから）

◆サロンなどの地域の居場所づくりや多世代交流イベントなどの開催、防災対策を通じた地域支援の体制づくりなど、「誰もが安心して住み続けられる安心のまちづくり」を目指して様々な取組が行われています。一方で、区民意識調査では、こうした活動や取組を知らない方が多い状況です。

◆少子高齢化はさらに進み、H31.1月時点の金沢区の高齢化率は28.8%（18区中第3位）ですが、横浜市将来人口推計では、2040年に高齢化率40%に達すると推計されています。核家族化も進んでおり、孤立した状態で子育てや介護・看護を担う当事者も少なくない状況です。

区民意識調査では、暮らしの中で気になっていることや困っていること、不便を感じていることとして、1位「自分の病気や健康、老後のこと」、2位「家族の健康や介護」となっており、将来への不安を感じている方が多い状況です。誰もが健やかに、安心して暮らせるまちづくりの必要性はさらに増しています。

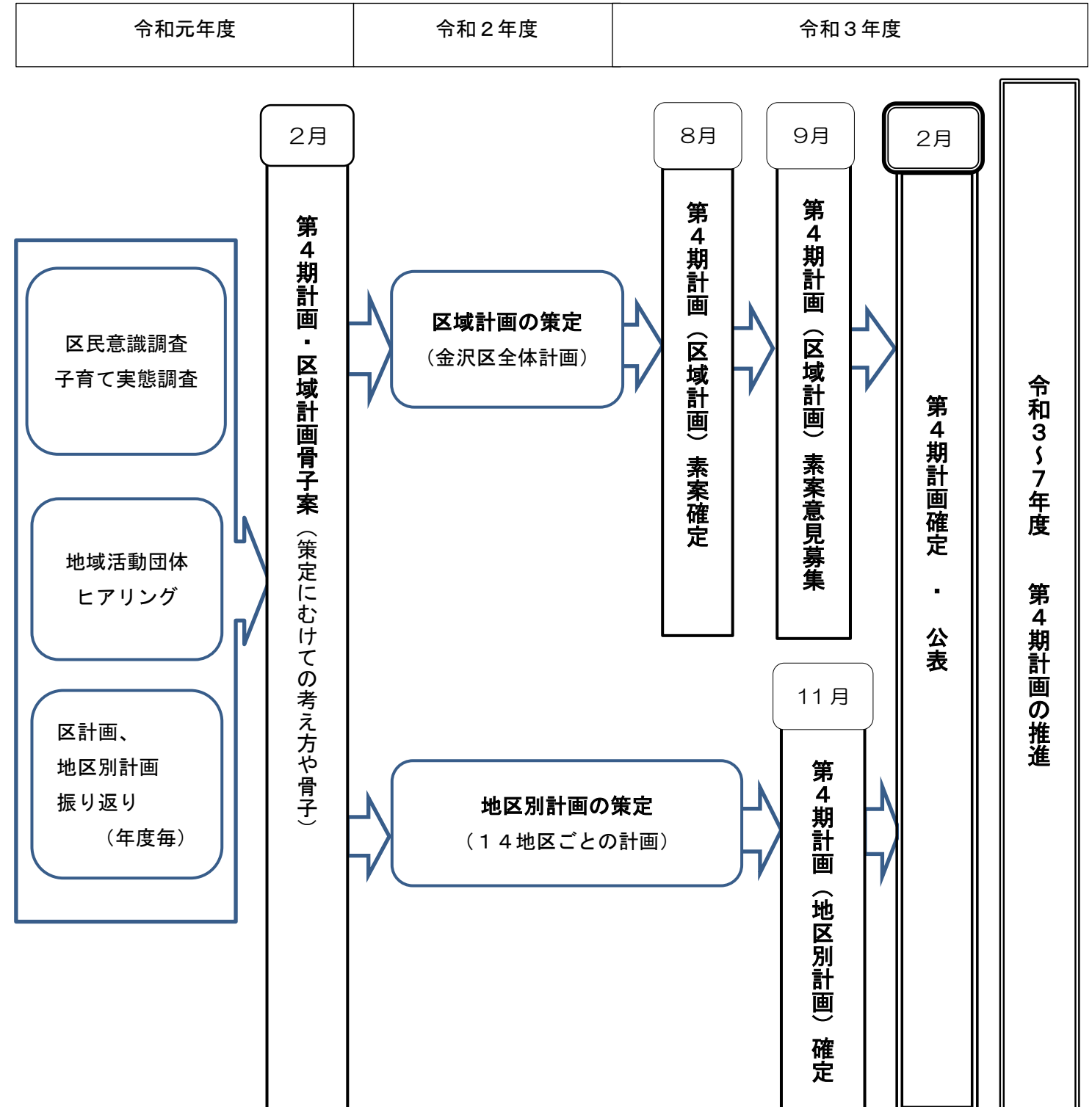
◆地域役員等への意識調査では、地域活動の担い手不足が課題となっています。区民意識調査では、地域活動の担い手として参加するための条件として、「きっかけ」「参加しやすい雰囲気」「情報」が「参加したくない（またはできない）」より上位となっており、ニーズを踏まえた活動の支援や活動を始める機会の提供などにより、担い手の発掘・育成を進めていく必要があります。

2 第4期計画の方向性

第3期計画では、基本理念「誰もが安心して健やかに住み続けられる支えあいのまちづくり」のもと、3つの重点テーマごとに推進目標を掲げ取組を進めてきました。

第4期計画でもこれまでの考えを継承しながら、加速する少子高齢化や人口減少、世帯の小規模化などの金沢区の将来像や、暮らしや地域に関する意識調査の結果から見えてきた、地域の担い手不足、地域で行われている様々な活動や取組が知られていないといった、地域での支え合いを推進する上での課題、地区推進連絡会などで出されたご意見を踏まえて、これまでに積み重ねてきた活動がさらに発展するよう、取り組んでいける内容を盛り込んでいきます。

3 第4期計画策定の流れ



第4期区計画骨子案



【基本理念】

誰もが安心して健やかに住み続けられる支えあいのまちづくり (第3期計画を継続)

◆推進の柱、推進目標◆

【第3期計画】

重点テーマⅠ 身近な知り合いを増やし
安心の輪を拡大

推進目標1 多世代が知りあう場づくり

推進目標2 日常生活の中で多様な見守りや
助けあいを推進する仕組みづくり

拡充

推進の柱1 誰もお互いを尊重し
共に支えあう地域へ

推進目標 多様性を理解し
日常生活の中での見守りや
助けあいを推進

【第4期計画】

【目指す姿】

◆特定の世代や立場などに限らず、多様な人が交流できる機会が増え、地域の顔見知りが増えている

◆年齢、性別、障害、国籍等、様々な立場・背景を持つ方や生活に困りごとを抱えている方がいることへの理解が進んでいる

◆住民同士や地域の関係機関・団体との連携により、日常生活の中での多様な見守りや助けあいの仕組みが増えている

重点テーマⅡ みんなで健康づくりに取り組み
いきいきとしたまちへ

推進目標 みんなで取り組む楽しい活動と
おした健康づくり

継続
拡充

推進の柱2 誰もが活躍できる場や
きっかけの拡大

推進目標 地域で活動したい気持ちを
育む・つなげる

【目指す姿】

◆誰もが気軽に参加できる地域活動やボランティア活動の機会、情報が提供され、活動に興味がある人が増えている

◆多くの住民がそれぞれにできることに取り組み、地域で活躍できる場や活動を支援する仕組みができている

重点テーマⅢ 『得意』や『経験』をいかして
わたしもあなたも地域も元気に

推進目標 誰もが活躍できる場やきっかけを
通じたいきいきと暮らせる地域づくり

推進の柱3 みんなで健康づくりに取り組み
いきいきとしたまちへ

推進目標 幅広い住民層が取り組む
地域の健康づくり活動の充実

【目指す姿】

◆様々な媒体や機会を通じて健康づくりに役立つ情報が提供されている

◆幅広い住民層が楽しく取り組むことができる地域の健康づくりの場や機会が充実している